



ビンゴゲームの
賞品。お菓子の
詰め合わせ。実
習生には一番人
気でした。

あじけん通信

2013 February

Vol.62

株式会社ティビシィ国際外語学院
企画・編集 澁谷 健司

「新年好!」「Chúc mừng năm mới!」

2月10日(日) いわゆる旧暦での新年が明けました。そこでアジ研では大晦日にあたる2月9日(土)に、昨年同様希望者を募って、中国の「春節」・ベトナムの「テト」を祝う昼食会が開かれました。会には中国人・ベトナム人実習生の皆さんだけでなく、タイ人・フィリピン人実習生、アジ研の日本語講師陣も加わり、アジア諸国の人々が言葉や文化の壁を越えて親睦を深め合う素晴らしい国際交流の場となりました。

しんねん、あけまして、おめでとうございます!

今年も昼食会のメインディッシュは手作り餃子! 50名の実習生が半日掛けて、約2,000個の餃子を作りました。食べきれないほどの餃子に加えて、スナック菓子や果物も付き、参加者全員に賞品が当たるビンゴゲームも行なわれました。参加費はワンコイン制の1人¥100! 実習生の皆さんも思わぬお年玉? に大喜びでした。



ベトナム語の歌を披露するベトナム人実習生の皆さん。向かって左から HANH (ハン) さん・HIEU (ヒュウ) さん・TAM (タム) さん・AN (アン) さん・QUOC (クック) さん



中国の民族舞踊を披露する中国人実習生。賀郡 (ガグン) さん・陳陽 (チンヨウ) さん

あじけんスコープ Vol.7



今月のあじけんスコープでは、中国の黒龍江省にある送り出機関から、6名の実習生ともに来日し、彼らと同じように当研修センターで寮生活を送りながら、毎日日本語の授業を参観している祁拉措（キラソウ）さん（写真中央・メガネを掛けている女性）を紹介させていただきます。

初めまして。私は、キラソウともうします。中国のハルビンにある送り出し機関で、日本語を教えています。今、私はティビィシィ・アジア研修センターで毎日日本語の授業を参観させていただき、日本語指導の勉強をしています。中国と日本の授業では違うところがたくさんあって、毎日驚かされています。一番の違いは、日本では先生がペアワークやグループワーク等工夫を凝らした活動を意欲的に取り入れ、実習生が主体となった授業が行なわれていることです。実習生は、とてもリラックスした雰囲気の中で、楽しく生き生きと学習に取り組んでいて、積極的に日本語を話します。その為、学習内容の定着も速いように感じました。私たちが中国で教えるときは、先生が一方向的に説明して、実習生はそれを黙って聞いているスタイルが主です。このような受身の学習では、実習生はすぐに退屈してしまい、学習内容も定着しにくいことがよく分かりました。また、実物や絵カードなどの教材を使って「分かりやすい」授業を心掛けている点も大変参考になりました。以前、私は、「生徒が日本語を覚えないのは生徒が悪いから」と思っていました。実はこれは私たち先生の責任でもあることを思い知らされました。帰国後は、この貴重な体験を中国にいる先生たちと共有して、頑張って日本語を教えたいです。

今月の実習生



今月の実習生は、昼食会で中国から持参したオカリナを演奏してくれた譚良玉さんを紹介します。譚さんは趣味でオカリナを始めてまだ1年足らずだそうです。その優しい音色に、みんなうっとり聞き惚れてしまい、演奏が終わると拍手するのを忘れてしまうほどでした。譚さん素晴らしい演奏をありがとうございました。

大勢の人の前での演奏でとても緊張しました。でも外国の人達との新年のお祝いはとても楽しかったです。餃子を作つくるのも、ピンゴゲームも私は初めてでした。とても楽しかったです。（譚良玉）

中国：湖南省出身 譚良玉（タン リョウギョク）さん